

## 第 11 回（令和 2 年度）通常総会議事録

日時：令和 2 年（2020 年）7 月 1 日（水）16:00～17:30

会場：（一財）リモート・センシング技術センター 2 階カンファレンスルーム

配布資料：第 11 回（令和 2 年度）通常総会議事次第（議案書）

出席者：

役員：山口会長、岩崎次期会長、高橋監事

幹事会社：国際航業株式会社（新井）、富士通株式会社（井上）、宇宙技術開発株式会社（伊東）、ESRI ジャパン株式会社（下田）、一般財団法人リモート・センシング技術センター（向井田）

正会員：1)アジア航測株式会社（委任状）、2)宇宙技術開発株式会社、3)ESRI ジャパン株式会社、4)国際航業株式会社、5)株式会社サテライト・ビジネス・ネットワーク（委任状）、6)ジオテクノス株式会社、7)株式会社地図環境テクノロジー（委任状）、8)日本電気株式会社（委任状）、9)株式会社パスコ、10)Harris Geospatial 株式会社、11)株式会社ビジョンテック、12)富士通株式会社、13)三井物産セキュアディレクション株式会社、14)一般財団法人リモート・センシング技術センター（五十音順、会員 16 社中 14 社）

事務局：ジオテクノス株式会社（藤川）

### 議事

#### 1. 総会成立確認

新井幹事により、正会員数 16 社のうち出席は 10 社であるが他 4 社からは委任状が提出されており、通常総会として成立したことが宣言された。

#### 2. 議長選出

コミュニティ規約第 11 条の規定により、山口会長が議長として選出された。

#### 3. 議案審議

##### 3-1. 【第 1 号議案】令和元年度活動報告

新井幹事から、議案書に基づき説明された。

議案どおりに承認された。

##### 3-2. 【第 2 号議案】令和元年度会計報告

事務局から令和元年度の会計報告があった。

##### 3-3. 【第 3 号議案】監査報告

高橋監事から、令和元年度のコミュニティの活動と会計報告について正当であることが報告された。

これらに対し、以下の質問があった。

(1)広告・広報費は予算に比べて支出が小さい。サーバレンタル費等がこの支出分で賄えるのだったら、予算額はなぜ多いのか

これに対し事務局から、広告・広報費は web サイトの改訂費用を含めて予算化している。令和元年度は作業部会の活動が低調であり、web サイト改訂もなかったため支出実績との差が大きくなっている、という説明があった。

他に異議はなく、第 2 号議案、第 3 号議案とも承認された。

#### 3-4. 【第 4 号議案】会員増減報告

事務局から、令和 2 年 4 月末日（令和元年度末）現在の正会員は 1 団体（スカパーJSAT 株式会社殿）が増えて 16 団体、オブザーバ会員 1 団体であることが報告された。

#### 3-5. 【第 5 号議案】幹事等選出

議案書の幹事等選出について下田幹事から説明があった。

山口靖教授が会長職から勇退され、東京大学岩崎晃教授に就任していただくこととし、監事は引き続き三井物産セキュアディレクション株式会社高橋氏に担当していただく。

幹事 5 社中 1 社が任期満了となり、公募したところ 2 社（国際航業株式会社殿、HarrisGeospatial 株式会社殿）への推薦があったため、以下の 6 社を令和元年度の幹事としたい。

- 1)国際航業株式会社
- 2)宇宙技術開発株式会社
- 3)ESRI ジャパン株式会社
- 4)富士通株式会社
- 5)一般財団法人リモート・センシング技術センター
- 6)Harris Geospatial 株式会社

上記の議案どおり承認された。

#### 3-7. 【第 6 号議案】令和 2 年度活動計画

議案書に則り、伊東幹事から説明があった。

これに対し、以下の質問と意見があった。

- (1)幹事会の開催は偶数月ではなく、奇数月ではないか
- (2)web 配信の講演会を考えているのか

幹事会からの回答は以下のとおりである。

- (1)奇数月が正しい。修正する。
- (2)開催時期の状況によるが、web 配信で実施することも考える。

議案どおり、令和 2 年度活動計画は承認された。

3-8. 【第7号議案】令和2年度予算

事務局から議案書に従って説明があり、議案書どおりに承認された。

4. その他

6年間にわたって会長を務めていた山口教授、新たに会長を引き受けていた岩崎教授、幹事を引き受けていた Harris Geospatial 株式会社大川代表から、ご挨拶をいただいた。

山口教授は名古屋大学を今年度で退官され、今後は主に JST で SATREPS に携わることをお話されました。

新会長の岩崎教授は、欧州委員会の展開（衛星データ利用の売り込み）に倣って日本での衛星データ利用拡大のために活動することが有効ではないかというご意見を述べられました。

幹事に就任された Harris Geospatial 社の大川代表は、コミュニティでは唯一の外資系企業会員である強みを活かし、米国の事情を紹介していきたいと抱負を述べられました。

以上を以て、第11回通常総会は終了した。

以上

本文書を、地球観測データ利用ビジネスコミュニティ第11回（令和2年度）通常総会の議事録と認める。

令和2年 8月 20日

山口 靖 印  
議長 山口 靖